

カッター研修 ～ 一般 ～



国立淡路青少年交流の家

カッター研修【一般】

■ 概要

カッターボートと呼ばれる船舶を海上で漕ぐことにより、仲間と力をあわせることの大切さを学びます。また、自力で帰港することにより達成感を味わうことができます。

■ ねらい

- ◆自分たちの力で帰港し、達成感を得る。
- ◆グループの在り方について考える。
- ◆グループに対する個人の関わり方について考える。
- ◆リーダーシップ、コミュニケーション、協力について考える。

■ 準備物

	準備物	必要数
1	●乗艇名簿	艇数分
2	●救助艇乗船申請書	必要な場合のみ
3	●水筒	人数分
4	●帽子	人数分
5	○タオル	人数分

※●はHPよりダウンロードしてください。

- 必要なもの
- あると良いもの

■ 服装

運動ができる服装
運動靴(サンダル・クロックス不可)
雨具(雨天実施の場合)

■ 指導者、人数、費用など

対象	一般
指導	全体指導
出艇基準	・一艇につき原則として9名以上25名以下 ・最大艇数は8艇まで
費用	3艇以下: 7,000円 4艇以上: 14,000円
実施時間	3時間
実施場所	レクチャー: 艇庫
	実習: 海上 ふりかえり: 艇庫前
時期	3月~11月



■ 事前

- ・乗艇名簿をカッター実施前日までに提出する。
- ・救助艇乗船希望の場合、救助艇乗船申請書を乗船名簿と併せて提出する。
※中学生以上は4艇以上の場合のみ救助艇の出艇あり
- ・名簿に変更が生じた場合は、実施までに速やかに連絡する。

■ 展開

	午前	午後	活動	研修生の動き	団体指導者の動き	職員の動き
導入 (60分)	8:40	13:00	艇長・通信係への事前レクチャー		・艇長、通信係は艇庫に集合	説明
	9:00	13:20	課題説明・安全面のレクチャー	艇庫前集合 陸上に設置のカッターボートを使い、1グループがモデルとなり、乗艇から上陸までの流れを把握する。		説明
	9:40	14:00	岸壁へ移動、乗艇	岸壁へ移動、乗艇		指示
活動中 (90分)	10:00	14:20	出港	指揮艇の曳航により海上へ出る	・艇長は、安全面に注意し、舵の操作をする。また、艇のモチベーションを高めるよう声かけをする。 ・通信係は、職員の指示を艇長に伝える。	安全面の指示を無線で行う。 着岸時は指導及び補助を行う。
			洋上研修	実際にカッターボートを漕艇する		
			入港	自力で岸壁まで漕艇する		
			上陸、艇庫へ移動	上陸、艇庫へ移動		
まとめ (20分)	11:40	16:00	ふりかえり	指導者(当所職員)による研修のまとめ、研修生の感想の発表		研修のまとめや発表に対するコメントなど
	12:00	16:20				

※詳しくは「カッター研修の流れ」をご覧ください。(HPよりダウンロードできます)
時間は目安です。艇数や海の状況により変わります。

■ 留意点

安全上の留意点

- ・艇長は周囲の状況を常に把握し、他艇との接触が無いよう操艇する。
- ・櫂(オール)を倒す際に、櫂と舷の間に指を挟まないよう気を付ける。
- ・舷(船縁)に手をかけないこと。
- ・カッターボートへの乗り降りにははしごを使用するが、はしごの昇降は、陸側を向いて行う。
- ・入港時、川に入ったら休憩及び人員交代をしないこと。

指導上の留意点

- ・A艇員にB艇員よりも力が強い者を配置する。
- ・適切な休憩が必要であるが、長い休憩は船酔いを引き起こすため注意する。
- ・艇員にわかりやすい掛け声をかける。

■ 荒天時の対応

- ・少雨は実施可能
- ・風速が7m/sを超えたときは実施不可能
- ・雷発生時は実施不可能
- ・海の状況によっては晴天時でも実施できないことがある。

■ 中止時の対応

- ・中止時の代替プログラムを考えておいてください。
- ・コミュニケーションを高めることができる実習等もあります。職員にご相談ください。

提出期限：
カッター実施前日まで

カッター乗艇名簿(一般用)

団体名				実施人数			
実施時期		年 月 日(午前、午後)		男性		合計	名
実施艇		号艇 ^{1~9号艇} (ただし4号艇はなし)		女性			
役割	氏名	性別	年齢	役割	氏名	性別	年齢
艇長※				通信※			
ボートフック				ロープ※			
1A※				1B			
2A※				2B			
3A※				3B			
4A※				4B			
5A※				5B			
6A※				6B			
7A※				7B			
8A※				8B			
交代1				交代2			
交代3				交代4			
交代5							

※印のある役割は必ず必要です。

出艇基準

1艇の乗艇人員は、9名以上25名まで

- 乗艇者の氏名・性別・年齢を記入してください。(性別・年齢の省略不可)
- こぎ手として力が必要なため、A艇員にはできるだけB艇員より力の強い方を充ててください。
- ボートフック係は必ず必要です。力の強い方を充ててください。
- ロープ係も必ず必要ですが、ボートフック係の人が兼ねることができます。
- 10名で実施する場合は、1A、2Aがボートフック係・ロープ係を兼務することができます。
- 9名で実施する場合は、艇長が通信係を兼務することができます。

